

# MIW通信 46

2020

MIW（ミュウ）は、千代田区男女共同参画センターの愛称です。公募で区民から寄せられました。MIはman（男性）、WIはwoman（女性）、Iはintercommunication（情報や意見交換）の頭文字です。

MIW マスコット  
キャラクター  
みゅうじろう



◇スポーツで輝くアスリートにきく…p2

**成毛美和 さん**

**「障害は個性」**

ーカッコいい  
ママ・アスリートとして

◇特集 1 座談会

意外と!? 子育てしやすい千代田区に  
暮らす…p4

◇特集 2

リケジヨの活躍 in ちよだ…p8



成毛美和さん（パワーリフティング選手）  
令和元年8月26日 千代田区役所での東京  
2020パラリンピック大会に向けた1年  
前イベントで  
千代田区は東京2020オリンピック・  
パラリンピックを応援します。  
千代田区

# 「障害は個性」―カッコいいママ・アスリートとして

## なるけみわ 成毛美和さん (パワーリフティング選手)

東京2020パラリンピックまであと5カ月。パワーリフティングの日本記録保持者であり、子育てと競技を両立している成毛美和選手にお話を伺いました。

―東京2020パラリンピックに向けてのお気持ちは？

私がパラ・パワーリフティングを始めたのは4年前で、開催地が東京に決まった時にはまだこの競技を始めていませんでした。その後、この競技を始め、様々な大会に出て、昨年7月、カザフスタンでの世界選手権大会で16位になりました。パラリンピック出場の標準記録57キロにはあと2キロ届きませんが、出場選手が決定する5月に向けて頑張りたいと思っています。

―始めたきっかけは？

私は二分脊椎症という先天性の障害があり、生まれた時から下肢にマヒがありました。大人になってから障害者バスケットをしていましたが、出産後辞めました。その時に、知り合いから、競技名も聞いたことがなかったパラ・パワーリフティングをしてみないかと誘われたの

です。バーだけで20キロあり、女性が持ち上げるのは大変ですが、私は、初回で32キロ挙げました。それを見ていたジムの方から、東京パラリンピックに行けるかもと言われました。体重41キロ級の階級には出場選手がいなかったというのです。ビックリしましたが、可能性があるなら、やってみようと思えました。

\*インタビュー時(令和元年8月26日)の記録。その後、今年2月に58キロを達成。



千代田区主催 東京2020パラリンピック大会に向けたイベントで(令和元年8月26日)



成毛美和(なるけみわ)さん  
1969年、茨城県生まれ。2018年全日本選手権優勝。2019年カザフスタンの世界選手権大会出場。最高記録(2020年2月):58kg(女子41kg級日本記録保持者)。40代後半からこの競技を開始。身長137cmと小柄ながら、日本新記録を更新。東京パラリンピック出場を目指す。(撮影:西岡浩記)

―どんな練習をされているのですか？

おもりをつけたバーを挙げる練習をしますが、パワーリフティングでは、壊した筋肉を回復する時間が必要なので、トレーニングは一日2時間のみのみで、毎日はいません。バーを「挙げて、下ろしてまた挙げる」というわずかに3秒の間に、それまで培った努力を出さなくてはならず、集中力と精神力を鍛えなくてはなりません。

現在は、朝6時ぐらいに起床し、朝食の支度をしてから、午前中は自営業の夫の手伝いをし、週3回、午後と夜にトレーニングしています。夫も家事をしてくれます。

―パラ・アスリートであることについて

学生の頃は、同級生から「変な歩き方」と言われると、悔しくて泣きましたが、30歳ぐらいになって、ふと「これって個性だな」と思えるようになりました。視力が弱ければメガネをかけるし、私の障害もそれと同じだなと思えたのです。そうした急にならなくなりました。個性をもっていいことが嫌でなくなりました。32歳の時にバスケッ

トを始め、障害がハンディでなく強みだと思えるようになり、その後は障害を持つていてよかったと感じるようになりました。

その後、障害者としてアスリート雇用をもらい、スポンサーが付いたことで、経済的に安定し、海外遠征の費用の心配もなくなったことも自信となっています。

―妻として、ママ・アスリートとしての経験は？

始めた時は、子どもが4歳でした。夜にトレーニングしていたので、最初の頃は子どもに泣かれて心苦しく、トレーニングを休んだこともありましたが、ジムに通い、合宿に参加すると費用もかかり、経済的にも厳しい状況でした。トレーニングに使うお金があったら、子どもとの外出に使いたいという葛藤もありました。でも今、息子は「カッコいいお母さん」と言ってくれています。夫から「どうせやるなら、やるだけやったら」と背中を押されたことも、今につながっていると思います。

母親でもある女性アスリートは、家事・育児も含めて大変ですが、全部前向きにとらえて、できる限りのことをしたいと思っています。50歳になってもスポーツ選手でいられることはありがたい、これからもカッコいいママ・アスリートでいたいです。

―東京パラリンピックに向けて

東京でやることで、多くの人の目に留まりやすいので、パラリンピックをきっかけに障害者のことを知って欲しいと思います。一概に障害を持つていても本音が様々です。困っている障害者がいたら当たり前に手を差し伸べたり、声をかけたりするように、それはパラリンピックが終わっても続いて欲しいです。

パワーリフティングの会場は、千代田区の東京国際フォーラムです。この競技は健常者に負けない記録が出ると言われています。男子の体重107キロ超級で、300キロもあるバーベルを挙げる人もいます。また、音楽や照明を使った、劇場型のスポーツと言われ、ものすごくカッコいい競技なので、ぜひ多くの方にきてもらいたいです。

ベンチプレス的一种。下肢に障害のある方が対象で、足を床に付けず、ベンチ台に横たわりベルトで体を固定してバーベルを持ち上げる。ラックからバーベルをはずした状態で静止し、審判の合図とともに胸まで下ろす。そして再びバーベルを押し上げることで1回の試技となる。男女とも体重別に10階級に分かれて順位を競う。1964年の東京パラリンピックで正式種目になった。バーベルを頭上まで持ち上げるウエイトリフティングとは違う競技。



パワーリフティングとは？

出典：特定非営利活動法人 日本パラ・パワーリフティング連盟

2018年、千代田区は、「共働き子育てしやすい街ランキング」\*で、全国3位になりました。子育て支援の制度・サービス等が高く評価された結果です。子育て世代が増加している今、共働きながら子育てをする際の千代田区の魅力や課題について、MIWの利用者4名の方々のご意見を伺いました。司会は、大日向雅美さんです。

\*日経 DUAL と日本経済新聞社による共同調査「自治体の子育て支援制度に関する調査」



座談会会場になったあい・ぽーと麹町併設 "Ai cafe"

## 子育て世代がつくる 千代田の新しい可能性

### 職住近接で 仕事と子育てを両立

**大日向** まず、皆さんが千代田区に住み始めたきっかけからお聞かせください。

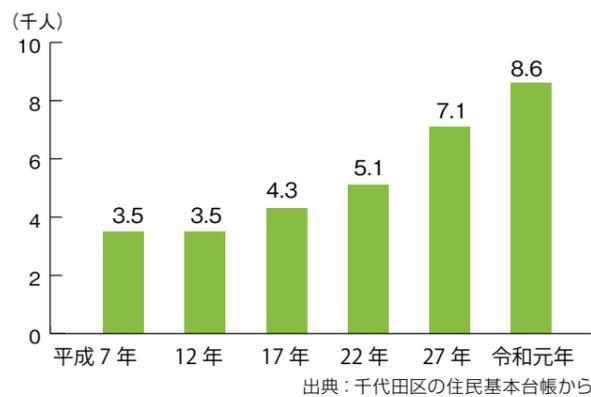
**飯野** 最初の子どもが産まれた2015年に、保育園に入りやすく、職場に近いということ、引越してきました。

**勝連** 私は2012年から住んでいます。住み始める前は、こんな都会に住めるのかと思っただけですが、住んでみると、保育園や区のサービスが充実していて、地域に母親や子育て世帯のつながりがあるって、とてもいいところだと思えるようになりました。

**中谷** 私自身、千代田区が好きで、区内で住まいを探して2016年から住んでいます。その後結婚し、昨年も子どもが産まれました。

**平田** 職場が大手町で、結婚を機に10年以上前から住んでいま

### 千代田区の年少人口（0歳～14歳）の推移



す。夫の住んでいた神保町と一緒に住み、その後、富士見地区に引越しました。

**大日向** 千代田区は家賃が高くて手が届かないイメージがありますが、皆さん、割と楽々が入っている印象ですね。やはり共働きで、仕事とリンクさせながら暮らそうと思つてのこのですか？

**平田** 家賃は高いですが、仕事と子育てを優先したら、結果として千代田区に住むことになりました。

**中谷** 妻も区内で働いているので、仕事しながら子育てができ、通勤時間が短いところを選びました。

**勝連** 住居の間取りがゆつたりとしているとは言えませんが、公園が多く、都会の真ん中ですが自然もあります。土日は人通りも少なく、子連れで歩いてもあまり気になりません。

**大日向** 今、日本は少子化が課題ですが、お話を聞いていると、解決のためのキーワードの一つは、仕事と子育てが一体化して

いることだと思えますね。

### ママたちの情報交換

**大日向** 私は「あい・ぽーと麹町\*」に関わっていて、千代田区の利用者の方々とお会いします。働いている女性が多く、育児もしながら、ご自分も充実している方たちが多い印象があります。

**勝連** 私は「ちよママ」という子育て情報交換したり子育て世帯と一緒にイベントをしたりするグループを作っていますが、メンバーは専業主婦と働いている女性と半々です。この半々状態がいいなと思っています。

**平田** そうですね。区内の子育て中の女性たちは、働いているかどうかに関わらず、それぞれに子育てに対するアイデアを持っていて、互いに知恵や情報の交換をしています。

### 「郷土愛」が持つ懐の深さ

**飯野** 結婚前は、男性が働き女性が子育てをするとの考えがありました。でも、妻も働いてキャリアを積んでいきたいわけです。夫婦でいろいろと話して、私も3人の娘それぞれに3カ月、

1カ月、2カ月の育休を取りました。

**中谷** 千代田区に住んでいる子育て世代は、女性も男性も情報の感覚が高いと思います。子育て支援制度やイベントなどをうまく見つけて活用する力があります。

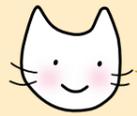
**平田** 私は産後半年間、地域の方がボランティアで食事づくりに来てくれて、とても助かりました。このような子育てをサポートしてくれる地域の方との接点を社会福祉協議会などが作ってくれています。

**中谷** 町会の集まりに出かけた時、昔から住んでいる方たちも子どもが増えることをうれしく思う気持ちがあると感じています。都心ですが「郷土愛」があるというか、私たちのような新住民を受け入れてくれる感じがあります。

**大日向** 「あい・ぽーと麹町」では、かつて企業戦士だった男性たちが「子育てまちづくり支援プロデューサー」として活躍しています。でも、彼らの多くは区民ではなく、外からの人です。世代や地域の違いを越えて受け入れる懐の深さが千代田区にはあ



左から 中谷瑛彦さん、勝連万智さん、大日向雅美さん(司会)、飯野慶さん、平田江梨子さん



「共働きで子育てしやすい」  
ってどんなこと？

「男性も家事・育児をすることは当然」と考える男性が58%いて、そう考える女性の47%よりも高い一方で、6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児関連時間(週全体1日当たり)は、女性が7.41時間と、男性の1.07時間の7倍になっているとの調査結果\*があります。やりたい気持ちがあっても、そうはできていない現実が見えてきます。

では、思いはあってもできない現状を変えるにはどうしたらいいのでしょうか？ その一つの考え方が、職住近接の選択かもしれません。

今回の座談会では、職住近接を優先して通勤時間を短くし、アウトソーシングや地域の資源を積極的に利用することで、仕事と家事・育児を両立している方々のお話を伺いました。

千代田区の制度・サービスと個人・民間のネットワークや情報を上手に利用して、仕事と子育てを両立させている参加者のお話をきっかけに、共働きしながら子育てしやすい街やそれぞれの生き方の選択について、考えてみませんか？

\*「男性の暮らし方・意識の変革に向けた課題と方策」H29年男女共同参画会議

子育ては  
18年間の夫婦の  
共同プロジェクト



平田江梨子(ひらたえりこ)さん(マスコミ会社勤務30代): 会社経営者の夫、長男(3歳10か月)、次男(11か月)。富士見在住。

「千代田が好き」で、  
ここで働き  
住んでいます



中谷瑛彦(なかやあきひこ)さん(団体職員30代): 団体職員の妻と長男(1歳6か月)。外神田在住。

優先するのは、  
子どもの睡眠時間と  
おいしい食事



勝連万智(かつれんまち)さん(フリーランスのSNSプランナー30代): 公務員の夫と長男(5歳)、長女(2歳)。北の丸公園在住。

娘3人の育休を  
取りました



飯野慶(いいのけい)さん(IT企業勤務30代): 金融機関勤務の妻と長女(4歳)、次女(2歳)、三女(0歳)。神田三崎町在住。

育てをそのように思っています。  
**勝連** 大切にしたいことの根幹が一緒であるなら、多少、問題にぶち当たっても解決するためはどうしたらいいか、きちんと話し合えると思います。  
**大日向** 大切なのは互いを認め合い、尊重し合うことですね。  
**勝連** 千代田区で私のまわりでつながっている人たちは、私が「料理をしない」といっても、自分の意見や価値観を押し付けず、「そうなんだ」と認めてくれます。一方で、一部では、あ

る一定のところまで受け入れてくれるけれど、「その先はちょっと」と、入れてもらえないところも感じます。  
**人と人とのネットワーク**  
**平田** 同世代でも、子育てや地域の情報を知っている人は知っているけど、知らない人はまったく知らない状況があります。  
**飯野** 同じ情報源を持っていても、キャッチする側の意識が違えば通じません。  
**勝連** これだけ情報過多な状況

でも、口コミが一番だと実感しています。千代田にもっともって口コミ・コミュニティが広がってほしいとも思います。  
**大日向** 情報につながり、その情報の価値を知っていくには、人と人とのネットワークがあってこそということですね。  
皆さんのお話を伺って、千代田の新しい可能性を感じました。皆さんのような子育て世代が住み続けることで、より生きやすく豊かな街に変わっていくことが楽しみです。

司会者



大日向雅美(おおひなたまさみ)さん  
恵泉女学園大学学長 NPO 法人あいぼーとステーション代表理事

ると思いますね。  
今後も住み続けたいと思っ  
いますか？  
**飯野** 子どもが高校生まで医療費が無料になる制度があり、できる限り住み続けたいと思っています。  
**勝連** 千代田区に住んだら、もう他には住みませんって感じです。アクセスのよさ、利便さは抜群です。  
**中谷** できる限り住み続けたいですが、一番のネックは、家賃です。区内で引越すと家賃補助が出る制度もありますが、住み続けるための制度がもっと充実したらいいと思います。  
**平田** 住み続けたいけれど、ファミリー向けで手の届く家賃の物件が少ないです。リノベേഷ

ンした物件が区内に増えたらいいなと思っています。  
**夫婦の「共有」と「尊重」**  
**大日向** 夫婦間でどのように子育てをしていこうか、思いますか？  
**勝連** 私は家では一切料理をしません。仕事から帰って夕飯の用意をして食べた後夜8時。子どもたちが寝る時間も遅くなります。子どもには、十分な睡眠時間と安全でおいしい食事を最優先しようと夫婦で話し合っています。料理のアウトソーシングを決めました。知り合いの方に自宅で料理を作ってもらうことにしたのです。お金はかかるけれど、夫婦で優先させることを明確にしたなら、大切なことがは

きりして生活がシンプルになりました。  
**中谷** 夫婦間で何を優先するかというビジョンを共有することは大事だと思います。私自身があり、妻とそのビジョンを共有していくことが大事だと思っています。  
**飯野** 私は以前オーストラリアに住んでいたことがあり、多様な意見を尊重することがいかに大切かを体験してきたので、夫婦間でも互いの「いろいろ」を尊重しながらやっていきたいと思っています。  
**子育ては夫婦の共同プロジェクト**  
**平田** 夫が会社を経営している時間的に育児に協力できないことが多いのですが、私は、子育ては家族というメンバーが一緒になって取り組む18年間の共同プロジェクトだと思っています。ビジョンを共有して、目標を達成するために夫婦でマネジメントし、使える資源や情報があれば積極的に使っていく。休む時はしっかりと休むスケジュールを作り、体調の管理も考える。子

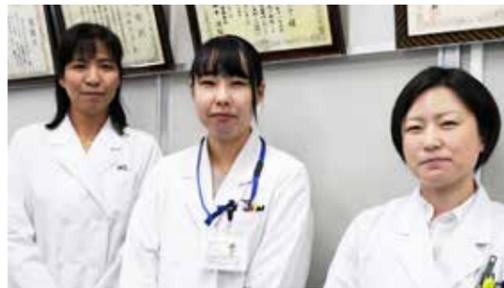


「理系は難しそう」と理工系分野の職業選択を避ける女子生徒の割合が男子生徒よりも高い、「理工系は仕事と生活の両立がしづらいのでは」というイメージを持たれているとの調査結果\*\*があります。実際に理工系分野で働く女性たちの働き方や思いはどうなっているのでしょうか？区内の理工系分野の企業で活躍している女性の皆さんに、お話を伺いました。

「おもしろそう」「の気持ちから理工系分野に

株式会社 分析センター

「化学分析という手法を使って、製品の品質保証や異物混入調査、建物のアスベスト調査や土壌汚染等の環境測定、法科学分野での事故原因究明調査などを行っています」ー分析技術部サブマネージャーの舟田南海さんは、仕事内容を



左から舟田南海(みなみ)さん、櫻井怜さん、松山なつみさん

説明してくれました。現在、分析センターの技術系正社員の2割が女性。舟田さんが入社した30年前は、「女性に責任の大きい仕事は任せない」という世の中の雰囲気もあつたそうですが、そうした中で舟田さんは実績を積み、女性分析員のパイオニアとして後輩女性たちのモデルとなってきました。

分析の仕事を選んだ理由

舟田さんは、高校2年生の時、有機化学の実験が面白く、興味を持ち、化学系大学に進学して分析の仕事を選びました。「分析を通してお客様が抱えている問題を解決するお手伝いのできた時は、とても嬉し

い。」入社2年目の松山なつみさんは、中学生の時から、テレビドラマ「科捜研の女」にあこがれて分析の仕事につきたいと思つたそうです。工学部を卒業後入社。「ドラマと違って地味な仕事ですが、様々な分析のプローチを探っていくことが面白い」と話します。



分析データを解析している様子

小さい頃から動物や植物が好きだった櫻井怜さんは、獣医学部で河川水の実験を通して、化学分析に興味をもち、この仕事を選んだそうです。「商品への異物混入を疑ったクレームについて、分析を通して無害であるかわかった時など、やりがいを感じます」。

選択肢も広がる理工系分野

3人とも、家族から好きなことをするよう言われ、女性だからと理工系分野への進学を反対されたことはなかったと言います。「理系で学ぶと文系の仕事もできるし選択の幅が広がる」「理工系分野の勉強はむずかしそうに思われるかもしれないけれど、専門性の

「ものづくり」をしたい気持ちがある今の仕事につながった

株式会社 日建設計

日建設計の設備設計グループの山岸陽子さんは、建物の変電設備や照明などの電気設備を設計、川口佳子さんは空調、給排水衛生設備の設計業務をしています。これまで、時に数百人規模のプロジェクトのメンバーとして小学校や駅ビル、オフィス、病院等の設計に携わってきました。



左から山岸陽子さん、川口佳子さん

と、多くの女性に理工系分野にチャレンジしてほしいと話してくれました。

小さい頃からものづくりに興味

山岸さんは、小学校の時から、答えがはっきりしている算数や理科が好きでした。また、イギリスやオランダで育ち、きれいなヨーロッパの街並みから建物に興味をもつようになり、将来は建築関係の仕事をしたいと思っていました。大学・大学院は理工学部に進み、日建設計入社後には一級建築士の資格を取りました。

川口さんは、小さい頃から絵を描くのが好きで、高校生の頃は古い建物を見るのが好きでした。大学は建築学科に進み、伝統的な建物が気候風土を活かし、快適に過ごせるよう工夫されていることを知り、自然エ

好きなことを続けること

お二人が働いている設備設計グループ約200人のうち、女性は1〜2割程度です。工事現場となると、更に割合は減り、「女性で、しかも若いと現場で苦労することもありますが、あきらめずに誠心誠意向き合うことで次第に信頼関係が築けます。私は『女だから』ということを気にしたこと

はあまりありません。それよりも好きなことに携われている充実感が勝ります」と山岸さんは話します。また、小学2年生の子どもがいる川口さんは、「以前の職場は規模が小さいということもあり、どうしても長時間労働で休



クライアントとの打ち合わせ風景。工事現場近くの監理事務所で

育児が大変でした。今の職場では、出産する女性社員が全員、産休・育休を取得し、仕事を続けています。理工系分野の職場だから仕事と家庭の両立がむずかしいのではなく、理解や制度があるか大きいのでは」とのご意見でした。お二人は、性別に関わらず、自分の好きなことを見つけ、それと向き合っていくこと、また、周りに協力してもらいながら、自分の「働きやすい環境」をつくっていくことが理工系分野に進む女性が増えることにつながるのではと話してくれました。

理工チャレンジとは



女子中高生・女子学生が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来をイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援する内閣府男女共同参画局等の取り組みです。理工系分野で活躍する女性からのメッセージ等が紹介されています。

http://www.gender.go.jp/c-challenge/about\_rikochalle/index.html

「理工系分野の勉強はむずかしそう」「イメージする職業は『医師』『学者』」等との固定した意識を女子中学生が持っている調査結果\*\*があります。取材から「あこがれや好きなこと」をし続けることが現在の仕事につながっていることがわかります。本人がやりたい気持ちを貫くことと、周りの大人たちが性別にこだわらず本人の興味・関心を尊重することが、女性が理工系分野に進む際に大事だと気づかされます。

講演会

少女マンガとフェミニズム  
—今、「さよならミスカー」が注目される理由—



講師：田中東子さん（大妻女子大学文学部教授）

# 第7回 MIW 祭り

咲かせよう『個』のはな  
～認め合う喜び～

昨年の10月4日～5日に、令和になって初めてのMIW祭りを実施しました。一人ひとりの個性を尊重し、認め合う大切さをテーマに「誰もが生きやすい、男女共同参画社会」を楽しく身近に感じるお祭りでした。

憲法ボードゲームとお話



ボードゲームをしながら憲法を考える

オープニングファッションショー



共立女子大学家政学部被服学科学生の皆さん

女子大学生が考える誰もが自由に楽しむファッション

あなたは何と呼ばれている？  
呼ばれたい？



パートナーの呼称調査

「仕事のこたいろいろ知りたい」  
に答えます  
—実業界の人財図書館—



仕事や就職に関するアドバイス



MIW祭り会場の様子



AED体験やポッチャ体験など区内大学生たちによるイベント

## 3月8日は「国際女性デー」です！

「国際女性デー」は、国際婦人年にあたる1975年に、国連により定められました。1900年代初めにアメリカやヨーロッパで行われた、女性の参政権を求めるデモが制定の起源とされています。国際女性デーは、権利を求めて苦難を乗り越えてきた女性たちをたたえる日であり、女性のさらなる権利向上や差別撤廃を目指すための日でもあります。



### 国際女性デーの花「ミモザ」

ヨーロッパでは3月8日に、男性が女性に、日ごろの感謝の気持ちを込め、ミモザの花を贈る習慣があります。このことからミモザは、国際女性デーを象徴する花とされています。

ほかにも人権まつわる記念日を紹介します。重点的に取り組まなければならない課題について広く呼びかける日とされ、世界各地で記念行事が行われます。

10月11日

### 国際ガールズ・デー

2011年に国連が決めました。女の子の権利やエンパワーメントの促進を、国際社会に呼びかける日とされています。児童婚やジェンダー不平等、女性に対する暴力・性暴力など、世界中の女の子が直面する課題に取り組むことを目的としています。

11月19日

### 国際男性デー

1999年に、カリブ海の島国トリニダード・トバゴで始まったといわれています。「男性の健康と幸福」に着目し、ジェンダー平等の推進や、地域社会や家庭に男性が積極的に関わり、肯定的なロールモデルを促進することなどを目的としています。日本では、SNSを中心に認知され始めています。

12月10日

### 人権デー

1950年に国連が決めました。日本では、毎年12月4日から12月10日を人権週間と定めています。地域で人権意識の普及啓発活動を行う「人権擁護委員」は、日本にしかない制度です。

### 千代田区の関連イベント

- 日程 5月19日～5月28日
- 時間 午前9時～午後8時（土曜日・日曜日は午後5時）
- 場所 区民ホール（九段南1-2-1 区役所1階）
- 対象 どなたでもご来場ください。
- 展示内容 エシカルファッション（人にも、地球環境にもやさしいファッション）を切り口に、SDGsや発展途上国の現状を紹介する展示会・講演会を実施。（詳しくは広報千代田4/5号をご覧ください）
- 問合せ 国際平和・男女平等人権課 ☎03-5211-4165



記念日に、イベントに参加してみたり、周りの人と話し合ったり…問題に関心を持つ、いいきっかけになりそうですね

MIW 講座

MIW では、性別による不平等がなく、その個性と能力を発揮できる社会の実現に向けた講座や講演会を実施しています。テーマは男女の生き方、子育て、ワーク・ライフ・バランス、心やからだの健康、介護などさまざまです。MIW の最新イベント情報は『広報千代田』、ホームページなどから発信しています。ご参加お待ちしております！

出前講座

区内企業、学校、保育園・幼稚園などで出前形式の講座を実施します。MIW までご連絡ください。

【講座テーマ例】

- 職場のハラスメント（セクハラ、パワハラ、マタハラ等）対策
  - ワーク・ライフ・バランス
  - LGBTs の基礎知識
  - デート DV 予防
  - メディアリテラシー向上（SNS、インターネットの使い方）
- ※そのほかのテーマについてもお気軽にご相談ください。



MIW 情報ライブラリ

MIW 情報ライブラリには男女共同参画社会づくりに関する資料が充実しています。生き方、仕事、ジェンダー、家族、からだ、子育て、介護など、テーマ別にまとまっていますので、目的の資料が見つけやすくなっています。



お探しの資料が見つからないときは、お気軽にスタッフにお声掛けください。図書、雑誌、DVDなどは千代田区立図書館貸出券で借りられます。



MIW で活動する団体を募集しています

MIW は、男女共同参画（ワーク・ライフ・バランス、子育てなど）をテーマに活動する団体・グループを登録団体として、活動を支援しています。MIW ミーティングルームやグループロッカーの貸出や、区と共催し、事業を行う機会の提供などをしています。



【登録要件】

- 活動目的：男女共同参画社会に資すること
- 代表者：区内在住・在勤・在学のいずれか
- 構成員：区内在住・在勤・在学を主な構成員とした5人以上の団体
- その他：MIW 祭り、MIW 事業に参加すること

MIW 相談室

☎ 03-5211-4316

夫婦やパートナー、家族との関係、人間関係、子育て、働き方、ハラスメント、DV、性に関する事、性暴力、犯罪被害など、困っていることがあったら、一人で悩まずご相談ください。予約制です。（区内在住、在勤、在学の方対象）



- 一般相談 火曜日・水曜日・金曜日 16:30～20:30  
木曜日・土曜日 10:30～15:30
- 法律相談 毎月第2火曜日 13:00～15:30
- LGBTs相談 毎月第2・4木曜日 16:30～19:30



みなさまからの MIW 通信の感想、MIW へのご意見などお待ちしております。



←メールはこちらから

千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)



所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 10 階  
 交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩 5 分  
 開館時間 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 9 時 土曜日 午前 9 時～午後 5 時  
 休館日 日曜日、祝日、年末年始  
 TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846  
 Eメール miw@city.chiyoda.tokyo.jp Facebook @chiyoda.miw  
 URL http://www.city.chiyoda.lg.jp (「暮らし・手続き」▶「男女平等・人権」▶男女共同参画センター MIW からお入りください)

■編集後記

春の花に心おむ季節となりました。誰に教えられなくとも冷たい空気の中に春を感じ取り、つぼみを膨らませる草木を見ると、命の不思議さ・自然の偉大さを感じます。MIW の相談・学習・情報・支援・交流の 5 本の木に MIW らしい花を咲かせるために、あなたの力を貸してください。そして、精一杯自分らしく咲こうとするあなたを、MIW は今年も応援します。(M)

